

令和8年第3回定例会（令和8年9月29日）

予算決算特別委員会委員長（森山 義治 委員長）

去る9月9日の本会議において、予算決算特別委員会に付託を受けました『議第90号 令和7年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について』から『議第98号 令和7年度別府市競輪事業会計利益の処分及び決算の認定について』までの計9議案について、審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

「当初予算審査」と「決算認定審査」の循環性を保つため、本委員会では、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかを検証し、将来の財政運営や、翌年度の当初予算編成へ反映させることを目的として、本年度も、慎重かつ適正な審査を実施いたしました。

委員会審査初日の9月11日においては、執行部の総括説明を受けた後、委員3名による総括審査を実施いたしました。

また、14日には、委員4名、15日には委員3名による個別審査を実施し、9月16日に採決を行ったところであります。

以上、議第90号から議第98号までの計9議案については、84項目の審査通告に基づき、審査をいたしました結果、一部の委員から反対の意思表示がなされましたが、次の意見を付して、認定すべきものと決定いたしました。

1 財政状況の健全化について

令和7年度の経常収支比率が98.1%と高止まりしている。400億円を超える地方債残高が将来の財政を圧迫しないよう、国庫補助金、地方債等の有利な制度を活用して市の負担を抑えるとともに、長期金利が上昇する中、起債を伴う事業については必要最小限にとどめ、適正な公債費管理に努めること。

また、金利上昇を活用した積極的な基金運用等による金融対策を行うことを求める。

2 市税の増収に対する政策について

市税収入は、個人市民税や固定資産税の大幅な増収により、市税全体で前年度比5.8%増となっている。一方で、法人市民税は設備投資等により減少しているものの、法人数は増加していることから地域経済の基盤として良好な兆候ととらえている。

今後は、投資した法人が地域に定着し地域の活性化に結びつくよう、将来的に税収増に繋げるための政策の推進を求める。

3 公共施設ファシリティマネジメントの推進について

平成28年度に策定された公共施設再編計画では、管理コスト削減目標を30年間で30%とされているが、延床面積の1.8%の削減に留まっている。年度ごとの削減目標を立てるなど具体的な対象施設を明記した実行ロードマップの速やかな再構築を要望する。

また、指定管理者制度導入施設については、維持管理体制の強化が図られていることは評価できる。今後も引き続き民間事業の持つ専門的なノウハウを活用し市民サービスの向上と経費削減に努めること。

4 「DX化」の推進について

生成AIやRPAの導入など、DX化の推進により職員の業務時間の削減が図られたことは評価できる。

しかしながら、削減された時間を単なる業務負担の軽減で終わらせず、窓口業務の縮小や更なる市民の利便性の向上など、適正な人員配置により人件費の抑制に繋がるよう努めること。

5 医療的ケア児支援事業の充実について

医療的ケアを必要とする子どもたちが、障がいの有無にかかわらず、健やかに成長できる環境を整えることは、安心して子育てができる社会の実現にとって必要不可欠である。

医療的ケア児への切れ目のない支援体制が構築されているが、今後はそれらの事業を一体的に捉え、子どもたちやその家族が安心して、必要な医療的ケアを継続的かつ安定的に受けられるよう支援体制の維持および充実に努めること。

6 特定健康診査受診率の向上について

特定健康診査の受診は、生活習慣病の早期発見・早期治療につながるために必要な検査であるが受診率は50%以下と低迷している。受診率向上のため、広報などによる啓発活動を強化すること。

7 競輪事業について

競輪事業における車券発売収益は、過去最高の約461億円を記録し、令和7年度決算の純利益は、前年度比18.51%増の約21億円、また、一般会計への繰出金は6.3億円と極めて好調である。

一方で、新しく開設した競輪投票ポータルサイト「ラブリン」については、各競輪場との契約事務等の諸事情により運用開始が遅れたことに伴い、会員数及び売上見込額が当初の目標値を下回っているものと認識される。

当事業は、国内初となる施行者が運営する事業であることを鑑み、中長期的な競輪事業全体の戦略（計画）のもとデータ分析や検証を行い、さらなる市民福祉の向上及び公益の増進に寄与するよう企業努力と成果達成を求める。

最後に、各事務事業を行うにあたっては、最少の経費で最大の効果が得られるよう事業内容の精査・費用対効果の検証を十分に行い、本意見書及び委員会での意見を令和９年度の当初予算編成に反映することを要望するとともに、予算審査と決算審査の循環性を図るため、令和９年（令和８年度決算認定審査）予算決算特別委員会において、その取組についての回答を求める。

以上、当委員会に付託を受けました議案９件に対する意見と審査結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をお願いいたします。